

# 七 宝 焼

会場	陶芸室	一人あたり費用	680円
人数	35人以内	講師料	6,000円
時間	2～3時間	利用団体が用意するもの	なし

1 準備	<p>(1) 服装を整え、着席する。</p> <p>(2) 講師の紹介、講師あいさつ。</p> <p>(3) 必要な機材、用具、材料 ※ 講師の指示に従い、準備する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>電気炉、グラインダー、釉薬（透明、不透明、裏引き）、フリット（透明、不透明）、ホセ、ボンスター、ピンセット 素材、水、その他</p> </div> <p style="text-align: center;">※プラザで行う場合は、本所で用意します。</p>														
2 作り方	<p>(1) 作る素材を決定する。</p> <p>(2) 表面処理（ボンスターで素地の裏表の油を除去する）</p> <p>(3) 裏引きして乾燥させる。（裏側に厚さ0.5～1mm程度盛る）</p> <p>(4) 表面に釉薬を盛り付け焼成する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">技 法</th> <th>作 り 方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①一色盛り （一度焼成）</td> <td>好きな一色を選び、厚さ1mm程度盛る。</td> </tr> <tr> <td>②多色盛り （一度焼成）</td> <td>2色以上の釉薬で図柄を作る。 一つの色から他の色を使うとき、ホセを必ず水洗いをする。</td> </tr> <tr> <td>③フリット七宝 （一度焼成）</td> <td>釉薬を盛り付けた上に、フリットをピンセットでのせ焼成する。</td> </tr> <tr> <td>④マーブル七宝 （二度焼成）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全面にうすい色を盛って焼成する。</li> <li>・数色の色の強い釉薬を大まかに盛って焼成する。 炉内で溶け出したら、針金の先で表面をこすり、軽く混ぜ合わせ部分的に色を移動させ焼成する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>⑤描き割り （二度焼成）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全面にうすい色を盛って焼成する。</li> <li>・その上に色の強い釉薬を盛り、とがったホセで字や図柄を描き焼成する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>⑥噴釉七宝 （二度焼成）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一度、不透明絵の具を全面に盛り焼成する。</li> <li>・その上に、透明絵の具を薄く盛り焼成する。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 乾燥させる。</p> <p>(6) 焼成。</p> <p>(7) 仕上げる。 はみだした部分はグラインダーで削り、台に入ったらボンドをつけ固定する。</p>	技 法	作 り 方	①一色盛り （一度焼成）	好きな一色を選び、厚さ1mm程度盛る。	②多色盛り （一度焼成）	2色以上の釉薬で図柄を作る。 一つの色から他の色を使うとき、ホセを必ず水洗いをする。	③フリット七宝 （一度焼成）	釉薬を盛り付けた上に、フリットをピンセットでのせ焼成する。	④マーブル七宝 （二度焼成）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全面にうすい色を盛って焼成する。</li> <li>・数色の色の強い釉薬を大まかに盛って焼成する。 炉内で溶け出したら、針金の先で表面をこすり、軽く混ぜ合わせ部分的に色を移動させ焼成する。</li> </ul>	⑤描き割り （二度焼成）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全面にうすい色を盛って焼成する。</li> <li>・その上に色の強い釉薬を盛り、とがったホセで字や図柄を描き焼成する。</li> </ul>	⑥噴釉七宝 （二度焼成）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度、不透明絵の具を全面に盛り焼成する。</li> <li>・その上に、透明絵の具を薄く盛り焼成する。</li> </ul>
技 法	作 り 方														
①一色盛り （一度焼成）	好きな一色を選び、厚さ1mm程度盛る。														
②多色盛り （一度焼成）	2色以上の釉薬で図柄を作る。 一つの色から他の色を使うとき、ホセを必ず水洗いをする。														
③フリット七宝 （一度焼成）	釉薬を盛り付けた上に、フリットをピンセットでのせ焼成する。														
④マーブル七宝 （二度焼成）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全面にうすい色を盛って焼成する。</li> <li>・数色の色の強い釉薬を大まかに盛って焼成する。 炉内で溶け出したら、針金の先で表面をこすり、軽く混ぜ合わせ部分的に色を移動させ焼成する。</li> </ul>														
⑤描き割り （二度焼成）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全面にうすい色を盛って焼成する。</li> <li>・その上に色の強い釉薬を盛り、とがったホセで字や図柄を描き焼成する。</li> </ul>														
⑥噴釉七宝 （二度焼成）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度、不透明絵の具を全面に盛り焼成する。</li> <li>・その上に、透明絵の具を薄く盛り焼成する。</li> </ul>														
3 指導講評	<p>(1) 班ごとに活動をふり返り、発表者を決める。</p> <p>(2) 班ごとに反省や感想を発表する。</p> <p>(3) 講師の指導講評を受ける。</p>														
4 後片付け	<p>(1) 講師の指示により、ゴミ等を片付けきれいにする。</p> <p>(2) 使った用具を、もとあった場所に戻す。</p> <p>(3) 講師にお礼を述べる。</p>														